

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月10日更新

事務事業名		下水道雨水排水施設維持管理事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展	
総合計画体系	政策	4	生活環境の健全		所属部	水道局
	施策	16	住環境の充実		所属課	下水道課
	業務分野	56	公園など身近な住環境の整備とみどりの保全		所属班	下水道班
予算科目	会計企業	款	項	目	事業連番	法令根拠
						下水道法 合志市下水道条例
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 21 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	下水道事業として整備した雨水排水施設(雨水管きよ、マンホール、雨水調整池、伏せ越し施設等)の点検・維持管理を行い、土砂除去など適切な措置を講じることで機能保持を図り、都市浸水被害を軽減するための対応を行う。 下水道事業で整備した雨水排水施設とは、下水道事業計画(認可及び全体計画)に基づいて建設された雨水幹線及び雨水調整池等をいい、道路の付属施設としての側溝は含まない。主な施設には、大池調整池、黒石調整池、御代志・黒石・東原・高後山雨水幹線などがある。昭和40年代に旧西合志町で都市下水路として整備され、後に下水道事業計画に位置付けられた黒石雨水幹線が最も古い。
【業務の流れ】	①雨水調整池の機能管理(降雨により、雨水幹線から池への流入及び下流への放流を調整する。流量調整機能)⇒現場に赴き、流入ゲート及び流出ゲートを操作する。②雨水調整池の除草等の管理。③雨水幹線施設ゲートの開閉作業(悪臭対策として雨季以外の時期はゲートを閉鎖する。雨季は開放する。)を行う。④構造的に土砂等が溜まる設備(調整池底部及び伏せ越し部等)の浚渫及び清掃を行う。
【主な予算費目】	委託料(浚渫及び清掃、除草)

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

雨水排水施設(雨水管きよ、マンホール、雨水調整池、伏せ越し施設等)の点検・維持管理を行った

②7年度計画(次年度に計画している主要内容)

黒石・大池雨水調整池及び黒石都市下水路の除草
大雨時の黒石雨水調整池の流量調節ゲートの管理
伏せ越し施設の浚渫

③予算の主な増減の理由

委託箇所増による委託料の増

成果指標

ア 浸水(床上)被害発生件数(処理区域内における)

(単位)

データ取得方法

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
ア	件	0	1	0	0	0	0	0	0
事業費	国庫支出金								
	都道府県支出金								
	地方債				5	335			
	その他		36						
	繰入金	1,435	900	1,068	1,068	1,405	1,000	1,000	1,000
(A) 事業費計	千円	1,435	936	1,068	1,073	1,740	1,000	1,000	1,000

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

下水道雨水調整池及び雨水幹線施設の機能を保持することができ、本施設に起因する浸水(床下)被害の発生がなく、目標は達成できた。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)